

組合のひろば



◆ 三重県コンピュータ業協同組合

情報処理技術者試験に合格した 県立高校生に図書カードを贈呈



三重県コンピュータ業協同組合(小柴眞治理事長)は、経済産業省が認定する情報処理技術者試験に挑戦している高校生を支援しており、2月28日、情報処理技術者試験のスキルレベル2以上(基本情報技術者試験、応用情報技術者試験等)に合格し、県立高等学校を令和4年3月に卒業する生徒31名に、図書カードを贈呈しました。

今回は、三重県立宇治山田商業高等学校に組合の理事長である小柴眞治氏(株式会社三重電子計算センター代表取締役社長)が訪問し、廣島朗校長に目録を、3名の代表生徒に図書カードを手渡しました。

小柴理事長からは「大変難しい試験に合格された皆様が、今後、さらにスキルアップして社会で活躍されることを期待しています。今後も三重県コンピュータ業協同組合として僅かながら支援していきたい。」とエールを送りました。

◆ 三重県茶商工業協同組合

第44回三重県茶審査技術協議大会に出場

三重県茶商工業協同組合(安田伸理理事長)の茶の卸・小売にかかわる組合員15名が、全国茶審査技術競技会(福岡大会)へ参加選手を選抜するため、3月9日四日市市で、三重県茶青年団主催の第44回三重県茶審査技術競技大会に出場しました。この大会は、日ごろの業務に必要な知識・技術である茶の品質の優劣を判定する技術や、産地・品種等を把握・鑑別する審査力を錬磨し、県内産茶の品質向上と取引の合理性に資することを目的に開催しています。

当日は、全国大会と同じ方法で「浸出による茶品種識別」、「外観による生産茶期判別」、「外観による生産地判別」、「煎出液服用による生産地鑑別」の技術を競い、成績上位10名が県代表選手に決定しました。



◆ 四日市朝市協同組合

「三滝川慈善橋市場」 開設百周年記念式典を開催



四日市朝市協同組合(山本豊昭理事長)は4月30日に四日市市で「三滝川慈善橋市場」開設百周年記念式典を開催しました。市場は1922(大正11)年に開設され、毎月下一桁に2、5、7、ゼロが付く日に開催しています。地元で育った野菜や鮮魚、青果などを販売する約40店舗が出店し、市内に9つある定期市場の中では最も歴史が古く規模も大きい市場です。

式典には、市場関係者のほか、森智広四日市市長、地元自治会長等が出席し、山本豊昭理事長より、「売って喜び、買って喜ぶをモットーに続けてきた。皆様に支えられながら百周年を迎えることができました。」とあいさつがありました。また、地元の子どもたちによる諏訪太鼓の演奏のほか、記念のエコバッグが先着1,000人に配布されました。

◆ 三重県建具工業協同組合

第43回三重県建具作品展示会を開催

三重県建具工業協同組合(長野政次理事長)は、5月21・22日の2日間、伊賀市の前田教育会館で「第43回三重県建具作品展示会」を開催し、22日に優秀作品に対する表彰式が行われました。

当組合員の建具業者による細木を縦横や斜め、曲線に組み合わせた「組子」入りのガラス戸や「障子戸」等約24作品が展示され、その中から三重県知事賞、三重県議会議長賞、伊賀市長賞、三重県中小企業団体中央会会長賞等18名の方が受賞されました。

